



# さわらび

第 80 号

発行元:十和田市立中央病院 地域医療連携室

発行責任者:室長 蘆野 吉和

十和田市西十二番町14番8号

TEL 0176-23-5869

FAX 0176-21-1234

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/02renkei/04sawarabiNews.html>

## 十和田市立中央病院の在宅医療連携拠点事業について

当院は、現在、平成 24 年度厚生労働省事業である「在宅医療連携拠点事業」を展開しています。この事業は今後あと 10 数年で到来する超高齢化および多死の時代への備えとして計画されたもので、今年は全国 105 か所で展開されています。



事業管理者 蘆野吉和

この事業の目指す目標は、医療と介護が連携しながら、住み慣れた地域の中で楽に生活することができ、そして住み慣れた生活の場で、看取り看取られる環境を保障することです。今年の国会で成立した「社会保障と税の一体改革」の重要な施策の一つです。

「在宅医療連携拠点事業」は、在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、在宅医療の普及、在宅医療に関わる医療および介護従事者の多職種協働による在宅医療の支援体制の強化を図るもので、この事業の大きな特徴は、「多職種連携」と「医療と介護の連携」を図ることであり、これまでの在宅医療に介護福祉関係者を積極的に参画させることを当面の目標としています。

当院はこの在宅医療連携拠点事業で、①看取りを伴う在宅医療の地域支援ネットワークの拡大、②医療関係者、介護福祉関係者に対する在宅医療および地域での看取りの普及、③在宅医療に関わる医療および介護関係者の顔の見える連携の推進、④地域住民に対する看取りを伴う在宅医療の啓発、⑤地域リハビリテーションの強化、⑥口腔ケアおよび嚥下リハビリテーションの地域への普及など企画し、具体的には、医療介護福祉機関の代表者から構成される会合（在宅医療拠点事業推進連絡協議会）の開催、施設間連携による退院調整、他施設での在宅医療への支援、地域内多職種連携による 24 時間体制の在宅ホスピスケアの提供、地域包括支援センターへの医療支援、在宅医療にかかわる医療関係者および介護福祉関係者の研修会・勉強会の開催、市民講演会の開催、などが行われています。

なお、この事業の事務局は地域医療連携室、事務担当者は築場奈津子、統括責任者は吉村純彦（総合診療科）です。

（文責）事業管理者 蘆野吉和

# 放射線科からのお知らせ

## AMULET f デジタルマンモグラフィ・CAD が導入されました。

従来のマンモグラフィより、患者さんへの時間的な負担が少なく、快適でより使いやすくなりました。

従来の画像よりも格段に鮮やかで、診断しやすい高画質画像を抽出し、CAD（コンピューター診断支援装置）内蔵で、50 $\mu$ mの高画質FPD（フラットパネルディレクタ）を搭載し、撮影間隔が短時間になりました。

新たな画像処理技術として、大胸筋、乳腺の多い領域、スキラインを識別し、大胸筋の入り方に影響をうけずにダイナミックレンジを解析。適切な濃度とコントラストに調整します。ポジショニング（胸筋量）に左右されにくく被写体ごとに最適な画像処理が可能となり微細石灰化の形状が鮮明に抽出できる高精細画像になりました。



## 乳がん検診の現状

日本人女性の乳がん罹患率(りかんりつ)は 今や 16 人に 1 人と年々増加傾向にあります。

女性がかかりやすいがんの第 1 位。乳がんは 30 代から急増し、40～50 歳代の女性に特に多くみられます。その後ゆるやかに減少しつつも 80 代まで高い確率で推移していきます。

また、厚生労働省によれば、視触診、マンモグラフィ検診、エコー（超音波）検診を含めた、乳がん検診受診率は、40 歳以上全般で徐々に増えてはいるものの、全国平均はまだまだ 20%程度にとどまっています。ですが、青森県でみると乳がんの検診受診率は 35.6%と全国で7位と高い受診率です。この数字をみると県民の乳がんに対する意識の高さがうかがえます。



放射線科 スタッフ一同

放射線治療医師	1 名
診療放射線技師	16 名
事務受付	2 名

(上記の再掲)

医学物理士	1 名
核医学専門技師	1 名
放射線治療専門技師	1 名
放射線治療品質管理士	1 名
第 1 種放射線取扱主任者	5 名
マンモグラフィ技術認定技師	4 名

# 外来診療担当医表 平成24年 12月

担当科	月	火	水	木	金
消化器内科	高井哲史(1)	高井哲史(2)	高井哲史(1)	高井哲史	佐藤守彦
	佐藤守彦(2)	佐藤守彦(1)	佐藤守彦(2)		
糖尿病外来			片野春人		藤原 史門
呼吸器内科	工藤優	工藤優	工藤優	工藤優	工藤優
	東北大応援医師				
循環器内科	小山滋豊	小山滋豊	小山滋豊	小山滋豊	小山滋豊
	藤原崇之	藤原崇之	藤原崇之	藤原崇之	藤原崇之
	東山優美子	東山優美子	東山優美子	東山優美子	東山優美子
				東北大応援医師(隔週)	東北大応援医師(隔週)
総合診療科 (内科部門)	宮川晃	宮川晃	宮川晃	宮川晃	宮川晃
	吉村純彦	吉村純彦	吉村純彦	吉村純彦	吉村純彦
	石橋和也	石橋和也		石橋和也	石橋和也
がん総合診療外来	蘆野吉和	吉村純彦	吉村純彦	蘆野吉和	吉村純彦
	吉村純彦			吉村純彦	
甲状腺外来			蘆野吉和		
外科	小田聡	丹野 弘晃	菊地 大介	杉田純一	4人の医師が交代で 担当する
		阿部永			
乳腺外来			外科医師	外科医師	外科医師
整形外科	田澤浩司	菊池明	田澤浩司	菊池明	田澤浩司
				弘前大学応援医師	
脳神経外科	善積威	善積威	外来診療なし	善積威	善積威
	赤坂健一	竹田哲司		赤坂健一	竹田哲司
神経内科					工藤雅子
小児科	小田誠	小田誠	小田誠	小田誠	小田誠
	工藤雅庸	工藤雅庸	工藤雅庸	工藤雅庸	工藤雅庸
	弘前大学応援医師		第1週を除く 応援医師		
婦人科	富浦一行	富浦一行	富浦一行	富浦一行	富浦一行
泌尿器科	成田直史	寺井康詞郎	成田直史	寺井康詞郎	外来診療なし
眼科	関野尹夫	外来診療なし	外来診療なし	関野尹夫	関野尹夫
耳鼻咽喉科	藤原文明	藤原文明	弘大応援医師	応援医師	藤原文明
皮膚科	菅原正幸	菅原正幸	菅原正幸	菅原正幸	菅原正幸
		東北大応援医師(隔週)			
ペイン クリニック					深田祐作
メンタル ヘルス科	谷地森康二	谷地森康二	谷地森康二	谷地森康二	谷地森康二
	竹内淳子	竹内淳子	竹内淳子	竹内淳子	竹内淳子
	※(1)は一診、(2)は二診			(資料提供：医事課・外来)	

外来診療担当医表については、随時更新しております。下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>

## 平成24年 10月患者数実績：資料提供 医事課

入院患者数(一般)	226.7人
外来患者数(一般)	576.9人
平均在院日数	12.4日
病床利用率	69.8%

紹介率	62.0%	逆紹介率	38.3%
-----	-------	------	-------

# お知らせ

## 十和田市立中央病院 大忘年会のお知らせ

日時：平成24年12月14日（金）  
18：30から  
場所：富士屋グランドホール  
東一番町2-28 TEL0176-23-1000  
会費：5,000円（当日受付いたします）  
申込締切：12月7日（金）  
FAXで申し込みください。FAX0176-23-2999  
問合せ：中央病院 業務課 施設係 小笠原  
23-5121（内線3250）  
\*登録医の先生方も是非ご参加ください



## Masachika Kusano PIANO RECITAL

### 演奏

ピアニスト 草野 政真 氏  
日時 平成24年12月15日（土）  
十和田市立中央病院  
1F エントランスホール  
Open 17：30から  
Start 18：00  
入場無料

### 主催

十和田市立中央病院  
芸術ボランティアの会  
「アルタ・ノヴァ」  
問合せ先 十和田市立中央病院  
0176-23-5121（3222）



### Profile

国立音楽大学附属高校、桐朋学園大学  
ピアノ科に学ぶ。  
1967年日系ロサンゼルス交響楽団主催  
コンクール第1位。  
1973年日本でのデビューリサイタル  
以来、卓越した技巧と豊潤な音楽性を  
併せ持つ、大型ロマンチックピアニスト  
として注目され、その演奏は故シュー  
ラ・チェルカスキー氏にも絶賛される。



今月のアート「七転び八起き」

画 畑中 光昭

## 在宅を支えるリハビリテーション 第3回研修会のご案内

- ・テーマ：「訪問リハビリテーションの実際」
  - ・講師：主任理学療法士 川崎 朗先生  
訪問看護ステーションえがお 訪問リハ科
- 日時：平成24年12月19日（水）  
18：30～20：00

- ・場所：当院別館2階「講堂」
- ・参加費：無料

### お申込み・お問い合わせ

中央病院 リハビリテーション科 清水・柴谷  
23-5121（内線2280）申し込み締め切り 12月18日  
【厚生労働省 在宅医療連携拠点事業】